

第96回経営協議会議事要録

日時 令和元年11月22日（金）13時30分～15時10分

会場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者（委員）

奥村、赤澤、佐山、進藤、清水の各委員

島田学長、早川理事、村松理事、袖山理事、杉山理事

（列席者）

鮎川監事、岩崎副学長、風間副学長、山田学長補佐、小林総務部長、松元財務管理部長、

池田施設・環境部長、渡邊研究推進部長、山田医学域事務部長、

渡邊監査課長、志村企画課長、深澤特命課長、石原総務課長、植松人事課長、田中財務管理課長、
窪田教務企画課長

加勢企画課課長補佐、望月広報企画室長、植村総務課課長補佐

議事要録確認

第95回（元.9.25開催）の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項

- 1 令和元年人事院勧告を踏まえた給与改定（案）について
袖山理事から、資料1により、令和元年人事院勧告への対応について説明があり、審議の結果、これを承認した。
なお、過半数代表者に意見聴取を実施していることについて、併せて説明があった。
- 2 就業規則等の改正（案）について
袖山理事から、資料2により、学内の要望及び国が進める働き方改革を踏まえた就業規則等の一部改正（以下、①～⑤）について説明があり、審議の結果、これを承認した。
 - ①附属病院看護部において短縮夜勤を導入すること
 - ②休日振替制度を拡大すること
 - ③非常勤職員等の雇用更新限度を撤廃すること
 - ④生命環境学域環境科学系助教に任期制を適用すること
 - ⑤非常勤職員の再雇用制度を拡大すること
 - ・国立大学法人山梨大学に勤務する職員の勤務時間等に関する規程
 - ・特殊勤務手当支給規則
 - ・国立大学法人山梨大学職員就業規則
 - ・国立大学法人山梨大学非常勤職員就業規則
 - ・国立大学法人山梨大学有期雇用職員就業規則
 - ・国立大学法人山梨大学教員の任期に関する規程
 - ・国立大学法人山梨大学非常勤職員の再雇用に関する規程
- 3 令和元年度学内補正予算（一次）編成（案）について
杉山理事から、資料3により、医学部附属病院の収入増や一般管理費の支出削減分等を財源として、人事院勧告に伴う人件費増への対応や附属病院への追加配分等を行う学内補正予算（一次）を編成すること、国立大学イノベーション創出環境強化事業交付金を学長戦略経費に配分することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 4 令和2年度学内予算編成方針等（案）について
杉山理事から、資料4により、令和2年度予算編成方針及び予算配分基準について説明があり、審議の結果、これを承認した。

- 5 令和元年台風第15号及び第19号による被災者に対する国立大学法人山梨大学授業料等に関する特例を定める規程の制定（案）について
村松理事から、資料5により、令和元年台風第15号及び台風第19号において被災した本学への志願者に対し、救済措置（入学検定料の免除）を行う旨の規定を制定することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。
 - ・令和元年台風第15号及び第19号による被災者に対する国立大学法人山梨大学授業料等に関する特例を定める規程
- 6 “一般社団法人大学アライアンスやまなし”の設立について
早川理事から、資料6により、「一般社団法人大学アライアンスやまなし」設立に向け公証役場への定款認証手続き及び法務局への法人登記申請等に係る準備を行っていること、設立時に記者会見等を行うこと及び同法人の概要等について説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 7 国立大学法人山梨大学民間資金獲得計画委員会規程の制定等（案）について
早川理事から、資料7により、令和元年度国立大学イノベーション創出環境強化事業実施に際し、ガバナンス強化を図り、事業推進を確実にするため、民間資金獲得計画委員会を設置する旨の規定を制定すること及びイノベーション創出強化本部を新設することに伴い国立大学法人山梨大学研究推進・社会連携機構細則の一部を改正することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。
なお、新規共同研究等の案件がある場合には、社会連携・知財管理センターに連絡願いたい旨依頼があった。
 - ・国立大学法人山梨大学民間資金獲得計画委員会規程（制定）
 - ・国立大学法人山梨大学研究推進・社会連携機構細則（一部改正）
- 8 共同研究取扱規程の一部改正（案）について
早川理事から、資料8により、共同研究実施に際し徴収している間接経費が現在実際に必要となる経費を下回っており、大学の財政を圧迫する一因となっているため、間接経費の適正化に向けて間接経費率を現行の15%から20%に変更することに伴い、標記規程の一部を改正することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。
 - ・共同研究取扱規程
- 9 甲斐路荘廃止に伴う用途変更（案）について
杉山理事から、資料9により、非常勤講師用の宿泊施設である甲斐路荘の用途を変更し、留学生の寄宿舎とすることについて説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 10 看護師宿舎A棟の用途廃止（案）について
杉山理事から、資料10により、設備の老朽化等のため医学部キャンパスの看護師宿舎A棟の用途を廃止することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

- 1 教育研究評議会の開催状況について
袖山理事から、資料11により、第186回及び第187回教育研究評議会の開催状況について報告があった。
- 2 役員会の開催状況について
袖山理事から、資料12により、第210回及び第211回役員会の開催状況について報告があった。
- 3 平成30事業年度財務報告について
杉山理事から、資料13及び映像資料により、平成30事業年度財務諸表に基づき、財務上の特徴を把握し、客観的な評価や今後の方向性の参考とするため17項目の財務指標により、同種・同規模25大学及び全国立大学法人平均との比較検証を行ったこと、今回から教育研究活動等のトピックスを記載した

こと等について報告があった。

4 大学間連携に係る準備委員会の検討状況等について

早川理事から、資料 14 により、第 4 回大学間連携に係る準備委員会を 10 月 16 日に開催し、連携事業に係る教育の質保証を検討する新たなWGを設置することとしたこと、外部理事に丸茂紀彦氏及び進藤中氏、専務理事に白沢一男相談役、事務局長に山田徹学長補佐を選任したこと、公証役場において定款の認証手続きを行っていること及び今後の対応・スケジュール等について報告があった。

5 中央教育審議会大学分科会でのプレゼンテーション結果について

早川理事から、資料 15 により、中央教育審議会大学分科会において、島田学長が、山梨大学と山梨県立大学の連携事業構想、大学等連携推進法人（仮称）制度の実施にあたっての要望事項及び地域連携プラットフォーム（仮称）に対する考えについてプレゼンテーションを行ったこと、プレゼンテーション内容についての意見交換を行ったこと等について報告があった。

6 大学運営に係る執行部と学域との意見交換会実施報告について

早川理事から、資料 16 により、執行部と学域との意見交換会（9～10 月実施）の総括及び課題等に係る今後の対応（フォローアップ等）について報告があった。

7 2019 年度卓越研究員事業の当事者間交渉状況について

早川理事から、資料 17 により、ポスト提示を行った 2019 年度卓越研究員事業の 2 ポストのうち、1 名が決定されたこと等について報告があった。

8 その他

(1) 大学入試英語成績提供システムの導入延期に伴う本学の対応について

村松理事から、令和 2 年度に導入予定であった英語民間試験活用のための標記システムの導入を延期する旨文部科学省から通知（11 月 1 日付け）があったこと、これに伴い本学の 2020 年度以降の入学選抜の基本方針を見直し、令和 3 年度入学選抜（令和 2 年度実施）においては英語民間試験を課さないこと（11 月 29 日公表）、令和 4 年度入学選抜（令和 3 年度実施）以降の対応については改めて検討すること等について報告があった。

(2) 事業決定プロセスの改革アクションプランについて

杉山理事から、机上配付資料 1 により、本学の財政状況を鑑み更なる経費削減を実施するため、事業精査プロセスを改善するため市場調査チームを設置したこと、コスト意識を醸成するため職員向けに特別研修を実施したこと等について報告があった。

(3) 会計検査院の検査結果について

鮎川監事から、会計検査院の平成 30 年度決算検査報告において、財務諸表の表示が不適正との指摘があったこと、本学HPに指摘内容及び今後の対応を掲載（11 月 8 日）するとともに過年度修正処理を行ったこと等について報告があった。

(4) 附属病院における臓器移植について

山田医学域事務部長から、机上配付資料 2 により、11 月 1 日（金）に山梨県内では初めて（全国では 15 例目）となる 6 歳未満の女兒による脳死下臓器提供が行われたことについて報告があった。

(5) 令和元年度学長等と外部有識者との意見交換実施状況について

学長から、机上配付資料 3 により、外部有識者との意見交換に係る内容要旨及び今後の意見交換の予定について、報告があった。

次回会議 令和 2 年 1 月 24 日（金）13 時 30 分から開催することを確認した。

学外委員からの意見等

審議事項

3 令和元年度学内補正予算（一次）編成（案）について

（奥村委員）

獲得した国立大学イノベーション創出環境強化事業交付金の学長戦略経費により、民間企業からの資金を獲得できるようなプロジェクトを推進していただきたい。

（島田学長）

新設したイノベーション創設強化本部を中心に検討を進めたい。

報告事項

3 平成 30 事業年度財務報告について

（清水委員）

同規模の 25 大学と比較しているが、協定等を締結して比較を行っているのか。また、同規模 25 大学の平均値と全国立大学の平均値とでは大きな差異があるか。

（松元財務管理部長）

協定等の締結はしておらず、各大学で独自に比較・検討を行っている。

（杉山理事）

全国立大学の平均値との比較は行っているが、規模等が異なるため重視していない。

（島田学長）

同規模 25 大学の平均値と全国立大学の平均値であっても同様な傾向が表れる指標もあり、その一つである診療経費比率の偏差値が特に低いので、分析・検討を行っている。

5 中央教育審議会大学分科会でのプレゼンテーション結果について

（清水委員）

島田学長のプレゼンテーションにより、要望は伝わったと感じている。

様々な会議等から、山梨大学と山梨県立大学との連携についての問合せ等があり、期待されているので、実現に向けて協力して推進したい。

（奥村委員）

山梨大学と山梨県立大学との連携のメリットは何か。競争的資金の獲得に有利となるか。資金獲得に“AI プロジェクト”“データサイエンス”を積極的に取り入れてほしい。

（島田学長）

教養教育において、双方の大学で開講している授業を受講できるなど学生にとってのメリットが大きい。また、大学設置基準の規制緩和となる専任教員のダブルカウントを要望している。外部資金を獲得するためにも、特色を出していきたい。